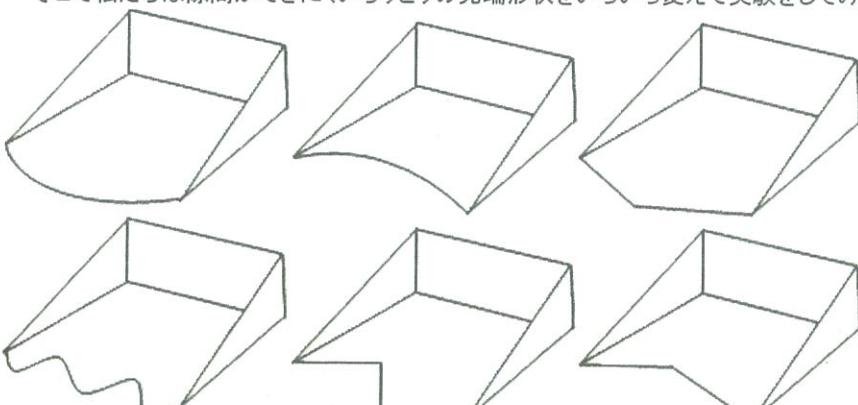
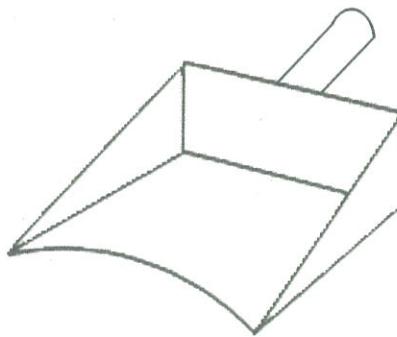


提出日 2016年9月22日

## 第15回 全国高等学校 ビジネスアイディア甲子園 応募用紙

ビジネスアイディア名	<b>キャッチリトリ</b>	
アイディアの内容	<p style="margin-top: 0;">&lt;記入のポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① アイディアの概要(どのようなものですか)</li> <li>② アイディアを思いついたキッカケ</li> <li>③ これまでのものとの違い</li> <li>④ 商品やサービスなどのイメージ図などを織り込んでまとめてください。</li> </ul>	
<p><b>①アイディアの概要(どのようなものですか)</b></p> <p>このアイディアは、ちりとりでゴミを取ったときにできるだけゴミの取り残しを少なくするアイディアちりとりです。ちりとりは、どのタイプを見ても先端の形状は写真のようにまっすぐです。しかし、実際に使ってみると、塵の取りこぼしが発生します。なぜ細かい塵が取れないのかを観察してみると、床とちりとりの間に隙間ができて塵の取りこぼしが発生しているのです。</p> <p>そこで私たちは隙間ができるいちりとりの先端形状をいろいろ変えて実験をしてみました。</p>   <p style="text-align: center;">写真:普通のちりとり</p> <p>このように、様々な形状のちりとりを作り実験をしました。普通のちりとりの先に図の様な先端形状を取り付けて実験しました。</p>  <p>実験の結果、左図のちりとりが一番取り残しが少ない形状となりました。実験結果から考察すると、ちりとりを使うときは先端を床につけ柄を持って少し角度をつけます。このとき、左図のちりとりが床とちりとりの先端が一致して隙間がほとんどなくなるのです。</p> <p><b>②アイディアを思いついたキッカケ</b></p> <p>掃除当番をしているとき、ちりとりでゴミを取るのですが、細かい塵が残ってしまい、何度もほうきを動かすのですが、きれいに取ることができません。そんな悩みを解決するために、ちりとりの形状を工夫してみようと思いました。</p> <p><b>③これまでのものとの違い</b></p> <p>いろいろなちりとりを調べてみましたが、私たちのような形状のちりとりはありませんでした。</p> <p><b>④商品やサービスなどのイメージ図などを織り込んでまとめてください。</b></p> <p>通常のちりとりの先端の形状を独自のアイディアで考えたので、今までのちりとりの先端に装着するか、全体の形状変更をするだけで、実現できます。プラスチック製のちりとりは射出成形で作られます。型を作つて製造すれば、大量に安く作ることができます。</p> <p>ゴミを逃さずキャッチするちりとりなので、「<b>キャッチリトリ</b>」と名付けました。</p>		

《注意事項》 応募は、本紙またはコピーを使用してください。追加資料をつけても構いません。ただし A4 サイズ・1枚(片面のみ)。様式は任意とします。

また、裏面に学校名、氏名を記入してください。

※規定を超えるものについては審査の対象外となりますのでご注意ください。